

将来のガイダンス構想会議 中間成果報告会



現在AMED医薬品等規制調和・評価研究事業において、「NAMsを用いた医薬品等の安全性評価試験の開発と行政活用に関する研究(代表:足利太可雄)」が行われており、主剤を含む新規医薬部外品のNAMsによる申請の可能性を検討しています。この度、これまでの研究成果を中間成果報告会として公開し、関係者の皆様と直接議論する機会を設けさせていただくこととなりました。企業の規模、行政、アカデミア、それぞれの立場を超えて意見交換したいと思いますので、関心のある方は是非ご参加ください。

テーマ

医薬部外品主剤申請はこのままなくなるのか？ —将来のガイダンスのあるべき姿を探る—

各サブテーマ(PBPK/iTTC、Read-across(Rax)、国際動向調査、皮膚感作性リスク評価、提言)における検討内容と最終目標について報告後、1時間程度パネルディスカッションを行います。

参加 無料

2026年9月1日(火)14:00~17:00(受付開始13:30)

会場 赤坂インターシティコンファレンス 301会議室
(〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 3F)

定員 100名(対面のみ)(先着順・申込要)
(希望者が多い場合、報告会終了後に情報交換会(有料)も企画いたします)

協賛

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

後援

一般社団法人 日本動物実験代替法学会
日本化粧品工業会
MPS実用化推進協議会

お申込み・お問い合わせ

国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部
足利太可雄 (takao.ashikaga@nihs.go.jp)
神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
TEL: 044-270-6597

参加登録QRコード



お申込み

参加登録URL <https://forms.office.com/r/9NZXYFKQsw>